

漁海況予報事業

農水省水産部水産課

(情報交換推進事業)

本事業は、水産資源の持続可能な利用を図るため、水産資源の合理的利用と操業の効率化を図り、漁業経営の安定に資することを目的として、漁業関係者間の情報交換を促進することを目的とする。本事業は、水産資源の持続可能な利用を図るため、水産資源の合理的利用と操業の効率化を図り、漁業経営の安定に資することを目的として、漁業関係者間の情報交換を促進することを目的とする。

1. 目的および内容

沿岸沖合漁業に関する漁況海況の調査研究及び資源調査の結果に基づいて予報を作成すること並びに漁況海況情報を収集し、当業者に通報することにより、漁業資源の合理的利用と操業の効率化を図り、漁業経営の安定に資する。

2. 方法

(1) 情報の収集

① 海況情報

表面水温データは県下のマグロ船（19ト型）に依頼し、漁業無線局を通じ時刻、位置、水温のデータを得る。これらのデータを毎週月水金曜にセンターにテレファックスで送信する。

② 漁況情報

マグロ、カジキ、カツオが水揚げされる市場及び漁況へ依頼し、毎日の船別、魚種別、銘柄別水揚げ量及び入港隻数の情報を週一回報告願う。情報収集先はマグロ、カジキ関係が県漁連、那覇地区漁協で、カツオ一本釣が本部漁協、伊良部漁協、八重山漁協から収集している。

(2) 対象漁業種類

カツオ一本釣、マグロはえ縄

(3) 広報方式

県速報を隔週報とし、周年広報する。

(4) 広報対象

各漁協及び漁業関係団体、水研、各県水試、主要市町村等

(5) 広報の内容

県下主要市場（漁協）におけるカツオ、マグロ類、カジキ類の水揚げ量、入港隻数及び沖縄近海の表面水温分布図

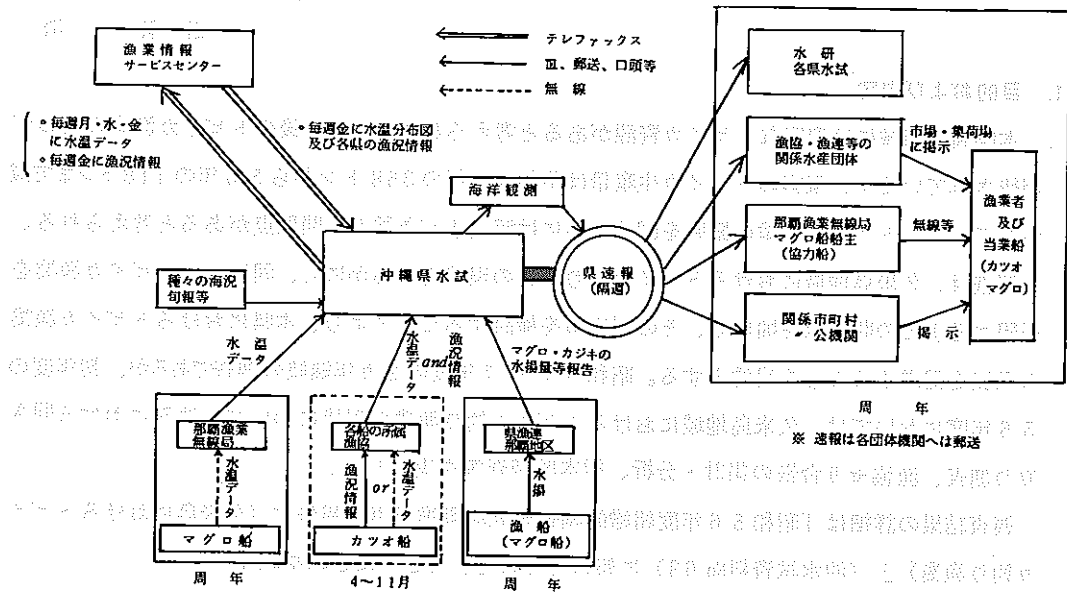
(6) 情報交換推進事業のフローチャート

図1参照

(7) 結果

調査結果は「漁海況予報事業結果報告書」として別冊発行予定であるので本稿では省略する。

平成10年度水産情報交換推進事業の概要
 (鹿児島県水産研究所が中心として)



情報収集系

情報広報系

図-1 情報交換推進事業フローチャート